

～男女共同参画社会の実現に向けて～

モア MORE

ひとひと
幸手市女と男の情報紙
第16号 2011

モア(MORE)とは、女と男がより豊かに、よりすばらしい男女共同参画社会実現への願いを込めて命名しました。



特集 ビッグ対談

| | |
|------------------------------|---------|
| 町田英夫幸手市長 内田洋子With You さいたま所長 | ・ 2. 3 |
| 南 修治コンサートin 幸手中学校 | 4 |
| 幸手市健康福祉まつり | 5 |
| 男女共同参画情報コーナー | 6 |

特集 <ビッグ対談> ~男女共同参画社会の実現へ~ モアはお互いを認め合う社会をめざします

—市民の人権が尊重され、能力を発揮し自主的に行動する幸手市をめざして—

開催日 平成22年9月28日 場所 幸手市役所会議室

平成8年、女と男がより豊かに、よりすばらしい男女共同参画社会実現への願いを込めて命名された女と男の情報紙「モア」が発行されて以来、今年で第16号を迎えることが出来ました。そこで、日頃から活動に積極的にご理解いただいている町田英夫幸手市長、そして幸手市在住で県民の男女共同参画活動を支援する埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）内田洋子所長をお迎えして、お話を伺いました。

司会は、幸手市男女共同参画推進協議会会長の福田章子です。

① 幸手市の取り組みとWith You さいたまを紹介してください

市長 生活水準の向上や社会環境の変化により、女性の社会進出が増大していますが、依然として格差やその固定的な役割分担意識に基づく偏りが見られる状況となっています。これからも性別にとらわれず個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を積極的に進めていきます。

所長 With You さいたまは、埼玉県の男女共同参画社会づくりの総合拠点施設として平成14年にオープンしました。「いつでも、誰でも、気軽に」をコンセプトに、講演会や講座・各種イベントの開催、相談事業、女性就業支援等、男女共同参画社会の実現に向けて様々な事業を実施しています。情報ライブラリーや交流サロンなども気軽に御利用いただけますのでぜひお越しください。



町田英夫市長

② 家庭での男女共同参画は？

市長 市長という立場になってなかなか時間が取れませんが、食事の後片づけの際、妻が洗う時は私が運んだり、雑草取りや庭仕事などの力仕事をしたりして、お互いに身体をいたわりながらやっています。

所長 家族はお互いを尊重し、大事にしたりされたりとおかげさまでいい関係です。家事もごく自然に助けあってやっています。立場上(笑)、我が家では男女共同参画を実践している、と思っています。

③ 住んでよかったと感じてもらえる「まち」にするためになにが必要と思いますか？

市長 家庭、学校、職場等におけるあらゆる機会や場面を通して、固定的性別役割分担意識を見直し、人権意識を高めることが必要です。

所長 男女共同参画社会は女性も男性もお互いを尊重し、大切にるところから始まります。住みやすいまちづくりも男女共同参画の視点で皆で取り組むことが必要だと思います。

④ 子育て支援についてお聞かせください

市長 「男は仕事、女は家庭」との役割意識を変えていくことも必要ですが、保育所や学童保育室の整備など女性が就労しやすい環境を整えていかなければなりません。子育てを行政としてサポートし、社会全体で支援していくことが必要との考えのもとに取り組んでいます。

所長 埼玉県としては福祉部を中心に様々な子育て支援を実施しています。With You さいたまでも「赤ちゃんの駅」や「授乳室」を整備して、お子様連れのお客様に安心してご利用いただいています。また「保育室」もありますので、お子様を預けて講座やイベントにご参加いただけます。

⑤ ワーク・ライフ・バランスについてお聞かせください

市長 男女共同参画として必要なことは、男性が家事、育児あるいは介護などにもっと取り組めるようにすること、いわば「男性の家庭進出」を推進することが大切であると考えています。

所長 埼玉県は核家族世帯の占める率が高く、女性の労働力率が出産・子育て期に大きく低下する、男性の通勤時間が長い、という特徴があります。そのため、女性も男性も、仕事や自分の活動と家庭生活の両立が大変むずかしい状況です。社会全体でワーク・ライフ・バランスに取り組み、女性も男性もいきいきと暮らせる社会にしたいですね。



内田洋子所長

⑥ 女性の働き方についてどのようにお考えですか？

市長 女性だけが仕事や社会活動と家庭との両立を求められている状態では、「男性並み」に活躍することがきわめて困難であることは、容易に想像がつきます。女性の就労意欲はこれからも高まっています。

男女共同参画社会の実現には、性別に関わらず仕事や地域活動などの分野に、対等に参画できるようにすることが不可欠です。

所長 埼玉県では出産・子育てのために離職せざるを得ない女性がたくさんいます。With You さいたまでは「結婚や出産で仕事をやめたけれど、もう一度働きたい」という子育て期の女性を応援するため、キャリアカウンセラーによるお仕事相談を実施しています。また就職支援セミナーや出前セミナーなども数多く実施し、もう一度働きたい女性を支援しています。

⑦ DV防止について現状と今後の取り組みについてお聞かせください

市長 幸手市の平成21年度相談件数は、2件であり保護等はありませんでした。また電話相談は3件でした。市では、①聞き取り調査②カウンセリング③安全の確保及び一時保護④保護命令制度の利用についての情報提供を行っています。

所長 DVはごく身近に起きています。結婚したことがある女性の3割がDVを受けたことがあり、そのうちの約1割がDVにより命の危険を感じています。最近では、若年層のデートDVが問題になり教育の現場を中心に啓発に努めています。被害にあったら一人で悩まないでWith You さいたまや市の相談窓口にてぜひ相談してください。

⑧ 情報紙「モア」について感想をお聞かせください

市長 情報紙の内容は、男女共同参画社会の実現に向けての課題を取り上げ、啓発を行うことにより男女平等意識の高揚を図ることが出来たと考えております。そして、この「モア」が市民の皆様様の目にとまり、役に立つ情報紙であることを願っています。

所長 どの号も表紙の色合いがやさしくあたたかい感じでいいですね。しかも少ない紙面の中に男女共同参画についての情報がぎっしり詰まっていて読み応えがあります。特に、講演会や研修会の開催報告や参加報告がきちんとされていてとても役に立っています。

⑨ 幸手市民に伝えたいことは？

市長 私たちのまち幸手市は、人々が安らぎ、働き、学びの場と考えています。幸手市市民憲章でも定めているように、さらに豊かで活力のあるまちにするために、市民一人ひとりがまちづくりの主人公としての自覚を持ち、それぞれの力を合わせ男女共同参画によるまちづくりを進めていきたいと思えます。

所長 男女共同参画社会をつくるということは、女性にとっても男性にとっても生きやすい社会をつくることです。一人ひとりが普段の生活の中で、少しずつ意識を変えていくことが社会全体の大きな変化となり、真の男女共同参画社会の実現につながると思います。「まずは身近なところから」男女共同参画を実践していきましょう。

会長 国や県が男女共同参画社会実現に向けて積極的に取り組んでいます。当協議会もセミナーや情報紙「モア」等を通して、女性と男性がお互いを尊重し合える社会の重要性を更に深めていただけるように活動していきます。

本日は、長時間に亘りましてありがとうございました。



福田章子会長

ひとひと 女と男の共生セミナー in 幸手中学校

南 修治コンサート「私らしく あなたらしく」

幸手市男女共同参画推進協議会では、平成22年7月8日(木)、幸手市立幸手中学校と共同で「女と男の共生セミナー」を開催しました。

これは、同校創立63周年記念「たちばな祭」の行事の一環として行われ、体育館に生徒、一般合わせて600人が参加し、シンガーソングライター南修治さんの歌とトークを楽しみました。

南さんは、全国各地でコンサート活動をしながらかウンセラーとして、子育てや若者の生き方の相談にも乗っています。

南さんの歌は、そうした活動を通して生まれたものがほとんどで、ギターに乗せての歌声が生徒たちの感動を呼び、共感のメッセージがアンケートやメールで寄せられています。

南さんが歌とトークで訴えた中からキーワードを拾ってみました。

ありのままの君が素晴らしい

勉強ができない、足が遅い、体が小さい、という理由だけで人を否定してはいけない。だれでも素晴らしい何かを持っている。違いを超えて一人ひとりの命を輝やかせよう。



「強い」の反対は「やさしい」？

男たる者強くなければ、という親のモノサシだけで比べてはいけない。やさしい男もすばらしい。

バラとタンポポどちらが美しい？

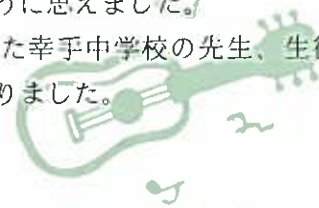
バラもタンポポもそれぞれ美しい。あなたにはあなたの役割が必ずあるので一生懸命生きることが大切。みんな違ってみんないい。

僕は不良少年だった

僕は、兄弟と比べられる劣等感から非行に走った時期があった。過去から逃げることをやめ、向き合うことに決めた時、立ち直ることができた。

会場の幸手中学校体育館には、「全力美也」の書が掲げられています。この意味を「全力を出し切って努力することが美しい」と解すれば、南さんのメッセージを凝縮しているように思えました。

ご協力いただいた幸手中学校の先生、生徒の皆さん、お世話になりました。



日本女性会議 2010きょうと

平成22年10月1日～2日
国立京都国際会館

～ひとりひとりが輝く色彩あふれる世界へ～を大会テーマに基調報告（内閣府男女共同参画局長岡島敦子氏）、記念講演（千葉県的女性弁護士第一号渥美雅子氏）また、分科会は11分科会に別れ、講演及び討論が行われました。会議の中で、特に男性の役割の拡がりを深く考えさせられました。

「男性介護（男性が女性を介護する）が急増中」

介護保険制度の施行から10年を経過した今も、介護の負担は依然として女性に集中しがちであると言えます。

その一方で「男性介護」「老々介護」「遠距離介護」「介護と仕事の両立」等と多様化しております。

今回はその中の「男性介護」の話聞き愕然としました。1968年は0に近かった男性介護が、

2007年には3人に1人（32.3%）と増え続けています。

「男性介護」の増加の背景には「夫婦世帯」「夫婦とも高齢の世帯」「単独世帯」等の大幅な増加があるものと思われます。

男性介護で男性が困っていることは、①炊事②裁縫③掃除④買物の順になっています。

このような状況を考えて、男性も自分に関係ないと考えていると思いますが、いつ、そのような立場に置かれるか分からないと思って、今から準備する必要があると感じました。

2011年の「日本女性会議」は、島根県松江市で開催されます。

「第30回幸手市健康福祉まつり」に初参加

平成22年11月6日(土)、ウェルス幸手にて「第30回幸手市健康福祉まつり」が開催されました。今回、初めて当協議会として参加し、“男女共同参画社会の実現に向けて”歩み続けてきた「モア」を中心に、諸々の活動状況をPRしました。

会場の一角に、「モア」が平成8年3月に、幸手市の女と男の情報紙として創刊されてから第15号までを展示しました。また、平成22年度の活動状況の一部を写真で紹介しました。特に、10月14日(木)久喜総合文化会館で開催された「第19回埼玉人権を考えるつどい」(下記)に協議会メンバーが研修参加しましたので併せて報告しました。その他にも、“男女共同参画社会を目指して”、家庭、地域、学校、職場では等の各々の役割分担を「表現ガイド」にしたパネルも展示しました。

今回は、初参加ということもあり、年1回(3月1日)の発行である「モア」を多くの市民の方々に読んでいただくようPRすることを第一義に考えました。次に、現在、“男女共同参画社会の



実現に向けて”の大きなテーマである①ワーク・ライフ・バランスの推進②DV(ドメスティック・バイオレンス)特に、デートDVの防止、について新聞報道を活用して問題提起しました。

来場者からは「モア」についての質問はもとより、「男女共同参画社会って難しいですね。」「展示資料が分かりやすく出来ていて参考になりました。」「展示場は人が集まりやすい場所だったら更によかったですね。」などのお声もいただきました。

今回、こうした活動を通して「モア」のPRと共に、当協議会の活動が少しでも市民の皆様にご理解していただけたら幸いです。

第19回埼玉人権を考えるつどい

～出会い ふれあい 思いやり～



平成22年は、10月14日(木)に“出会い ふれあい 思いやり”をテーマとして久喜総合文化会館で開催されました。

会場前広場には、『夢 希望 埼玉10万人メッセージ』がパネルに大きく展示してありました。(写真右)これは、埼玉12市町の小・中学校226校の全児童生徒10万5,372人が人権に対する想いをメッセージにまとめ、それをもとに各市町が絵や文字にして表わしたものです。参会者の中には、我が子やご近所のお子様のメッセージを探る姿が見られ、和やかでほほえましかったです。

大ホールに入るとステージ上には、12市町の行灯(あんどん)の灯りがともっていました。

それには各市町長の願いが毛筆で書かれていました。町田幸手市長の行灯には、「気づかいと笑顔でつくる共生社会」と記され、人権に寄せる深い想いが訴えられていました。

オープニングでは、久喜北陽高校のチアリー



ディング部が明るくダイナミックなダンスを披露し観客を魅了、会場を華々しく飾りました。

開会行事後には、各市町の団体による合唱・合奏・踊り・演劇等の発表がありました。ここでは、高齢者や障害のある方々が一生懸命に発表する姿に感動し、改めて人権を守ることの大切さを認識しました。

次回のつどいは、平成23年10月13日(木)に越谷コミュニティセンターで開催されます。

企業が子育てを応援します

従業員の《仕事と子育ての両立支援》や《地域における子育て支援》に取り組むことを宣言するのが『埼玉県子育て応援宣言企業』です。仕事と生活を両立させていくワーク・ライフ・バランスの推進には、企業の協力が必要です。

幸手市では、26社(平成23年1月現在)が登録しています。そこで、幸手市で一番最初に登録をした会社を訪問してお話を伺いました。



平成18年2月4日登録（登録番号18249）

川村建設株式会社

創業90年。会社設立は昭和25年。公共土木工事を中心とした建設業。従業員23名のうち女性3名の会社。

☆宣言内容は

- ・ワークライフバランス推進委員を選任し、出産休暇・育児休業・復職等に関する情報提供や相談にあたらせる
- ・社内報や社内研修などを通じて育児休業制度を周知する
- ・子どもの学校行事に参加するための年休取得を奨励する
- ・子育て時間が作れるよう半日単位の年休取得の実施
- ・父親も積極的に子育て参加ができるよう勤務時間の考慮



☆実施状況は

今のところ男性の育児休暇の相談はありませんが、出産前後に一週間くらい育児休暇を取得した社員がいます。また、学校行事には積極的参加をするよう推進しています。そして、繁忙期後に、家族旅行を希望する社員の長期休暇を認めるなど、子育てを応援しています。

登録にあたり、就業規則の一部を以下のように改めました。

「小学校入学前の子と同居の場合、会社に申し出れば育児短時間勤務の制度の適用を受け入れる。女性には、別途育児時間を与える。」

これからも、『埼玉県子育て応援宣言企業』として、《仕事と子育ての両立支援》に取り組んでいきます。

取材のご協力をありがとうございました。

(取材日 平成22年11月)

「イクメン・カジメン・料理パパ」の写真を募集します!

育児・家事に積極的な男性の写真を募集します。

応募資格 幸手市民ならどなたでも!

自薦、他薦を問いません。

募集期間 平成23年3月1日～6月30日

応募方法 1人1枚(L版写真)

イクメン・カジメン・料理パパが伝わって来るような写真。応募写真の裏に名前・住所・電話番号と写真についての一言を記入して、申し込みをお願いいたします。

なお、お預かりした写真は原則として返却いたしません。

問い合わせ・送り先は下記幸手市人権推進課へ

作品掲示 作品は、幸手市健康福祉まつりや男女共同参画推進のイベント等で紹介させていただきます。



子どもから
元気を
もらっています...

◇◇◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇◇◇

21世紀は、「人権の世紀」と言われていますが、今なお、児童虐待、女性への暴力、少年犯罪など、嘆かわしい事件が毎日のように報道されています。

私たち一人ひとりが人権の尊重を自分の課題としてとらえ、さらに人権意識を高める必要があります。そして、豊かで明るく住みよい社会が実現されることを心から願います。

これからも積極的に男女共同参画推進活動をしてまいります。

ご意見ご要望を事務局までお寄せ下さい。